



DaiwaHouse PRESENTS



# 熊川哲也 K-BALLET TOKYO

Spring Tour 2024

禁忌の恋、裏切り、嫉妬、陰謀……  
愛憎渦巻くスペクタクル超大作、熊川哲也版ついに関西へ!

# ラ・バヤデーレ La Bayadère

【芸術監督】熊川哲也

【演出・再演出】熊川哲也 【原案】マリウス・プティパ 【音楽】レオン・ミンクス 【舞台美術・衣装デザイン】ディック・ハード 【照明デザイン】足立 恒



## La Bayadère STORY

舞台は古代インド。寺院の舞姫ニキヤと戦士ソロルは密かに愛し合っている。だが領主ラジャに娘のガムザッティとの結婚を命じられたソロルは、権力と彼女の美顔に抗えず承諾する。ニキヤに求愛を拒まれた大憤正は、ニキヤとソロルの関係をラジャに密告。それを聞いたガムザッティは、ニキヤに身を引くよう迫るが激しい争いとなり、ニキヤの救済を決意する。ソロルとガムザッティの婚約の裏で祝いの舞を悲しげに踊るニキヤ、ソロルに花籠を手渡された喜びも束の間、中に仕込まれていた毒蛇に噛まれ、絶望のうちに息絶える。悲しみと後悔に苦しむソロルは、夢の中でニキヤと再会する。そして……



2024 6/12(水) 18:30 開演〔開場 17:30〕フェニーチェ堺 大ホール



岩井優花 (ニキヤ) 堀内将平 (ソロル) 成田紗弥 (ガムザッティ)

出演：【ニキヤ】岩井優花 【ソロル】堀内将平  
【ガムザッティ】成田紗弥 ほか Kバレエ トウキョウ  
指揮：井田勝大  
管弦楽：シアター オーケストラ トウキョウ

【全席指定 / 税込】Kプラチナシート ¥20,000 既装  
S席 ¥16,000 / A席 ¥12,000 / B席 ¥9,000 / C席 ¥7,000 既装  
注釈付指定席 ¥7,000 (座席の一部が見えづらいお席となります)  
※5歳以上入場が可能です。但し、お席が必要です。  
※平日を要する事情により出演者が変更となる場合があります。  
※詳しい席は堺市文化振興財団チケットセンターでご予約ください。

主催：フェニーチェ堺（公益財団法人堺市文化振興財団）  
特別協賛：大和ハウス工業株式会社  
協賛：ヤマホールディングス  
オフィシャルエアライン：ANA  
制作：K-BALLET/TBS

【チケット予約】

WEB サカイメイト チケット 検索  
<https://www.cnplayguide.com/sakai-bunshin/fenice-sacay/>

TEL 堺市文化振興財団チケットセンター  
0570-08-0089

※一部携帯・CATV 接続電話・IP 電話からはご利用いただけません。

窓口 フェニーチェ堺チケット窓口 (9:00 ~ 20:00)  
※堺市立総合文化会館、堺文化会館、アルテベル(美術文化会館)窓口でも購入できます。

プレイガイド チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:524-164]  
ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:54868]  
e+(イープラス) <https://eplus.jp/fenice-sacay/>

詳細はこちら



【アクセス】

フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)  
〒590-0061 堺市堺区錦町 2-1-1  
南海高野線 なんば～堺東 約10分  
堺東駅から徒歩8分

【お問い合わせ】

フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)  
072-223-1000(9:00 ~ 20:00)  
(休) 前1・3月曜日(祝日の場合は翌平日)  
※この番号ではチケットのご予約は承っておりません。

Photograph: Yuma Kato/Photo: Sora/Photo: Ugo



# Kバレエが誇る壮大にしてドラマティックなグランド・バレエの傑作!

熊川哲也が名実共に世界のスターダムへと駆け上がった、  
いわば出発点を標す作品——それが「ラ・バヤデル」。  
満を持して本作を自身のプロダクションとして手掛けたのは2014年、  
Kバレエ設立15周年のことだった。

作品の魅力を知り尽くせばこそその視点で独自の解釈を織り込み作り上げたその世界は  
まさに古典を現代に息づかせる〈熊川版グランド・バレエ〉の真骨頂というべきもの。  
そしてまた、生々しい感情が渦巻く濃密な人間ドラマと  
古典バレエの様式美との高次元の融合が求められる本作は  
カンパニーの充実著しい今こそ上演にふさわしい演目と言っていい。  
名作バレエの秘めたる可能性を拓いた一大スペクタクル、待望の上演!



## 一糸乱れぬコール・ド・バレエが織り成す夢幻の世界

世俗の愛憎劇とは一転、観る者を幽玄の境地へといざなうのが  
バレエ・プラン(白いバレエ)の中でも屈指の名場面とされる「影の王国」。  
永遠の時を刻むかのように一人、また一人と姿を現す  
死したニキヤの幻影たちが完璧に一体化し編み上げていく壮麗な群舞の美はKバレエならではの。



## 世界が崩壊してゆくそのラストに置かれた 唯一無二にして感動的な結末

独自の解釈が随所に織り込まれた熊川版の中でも  
とりわけ光彩を放つのが最終場に待ち受ける怒涛のクライマックス。  
息絶えたワロル、ニキヤの化身たる白蛇に噛まれ絶命するガムザッテイ、  
残された人々を突如として襲う天変地異、  
そして、崩壊した地上を浄化すべく舞う神の化身ブロンズ・アイドル——。  
熊川の草莽した発想が生んだ、他に類をみない感動がここに!



## 悠久の彼方へといざなう圧巻の舞台美術

神の宿る場所のスピリチュアルな空気さえも感じさせる荘厳な寺院、富と権力を誇示するがごとく豪奢な宮殿……  
圧倒的スケールのエキゾチシズムあふれる舞台空間が古代インドの世界へとタイムスリップさせる!



## 登場人物の心理を緻密に編み上げた 説得力あるドラマ展開

神に仕える舞姫と高名な戦士の禁断の恋、  
愛する男をめぐるふたりの美女の熾烈な対決、  
権力者たちの思かなエゴが引き起こす謀殺、そして世界の崩壊……  
登場人物たちの複雑に絡み合う心理の織を  
丹念に掘り下げ描き出していく熊川版のストーリー展開は  
ダンサーのより深く豊かな感情を引き出しながら普遍の人間ドラマを堪能させてくれる。

